

# マンスリータイムズ



和歌山県立紀伊コスモス支援学校園部分校  
平成22年4月号

## あらたななかまと元気にスタート

## そのべっ子!



園部の山々に、春の香りが漂う「春」真っ盛りの季節になりました。そして、春の訪れをずっと待ちわびたように、小学部4名、中学部12名の新たな「なかま」が、過日実施した園部分校第12回入学式において、元気に校門をくぐって入学しました。昨年度末に卒業生を送り、少し寂しかった校舎内に、新たな笑顔、元気な笑い声が響き渡り、活気あふれる「園部分校」が戻ってきました。

4月9日の入学式から、まだ3週間程度しか経っていないのに、ニューフェイスのなかまは、もうすっかり学校生活に慣れ、毎日楽しく過ごしています。特に小学部新入児童4名は、初めての学校、初めての教室、初めての先生と、新たな環境ばかりで、緊張と戸惑いの毎日だったことと思いますが、保護者の皆様方の、温かいご配慮のもと、そのべっ子の一員として、その愛嬌をみんなにふりまいてくれています。とってもたくましく感じます。一方、中学部に入学した12名のみんな。うち6名は、小学部から進級しましたが、始めて着た制服がとってもお似合いで、もう立派な「中学生」になりました。たのもしなお兄さんお姉さんになったような気がします。地域の小学校から入学した6名のみんなも、もうすっかり、学校に慣れ親しみ、休み時間などは、元気いっぱい、運動場やプレイルームで遊んでいます。子どもの「力」はすばらしく、いつのまにか、「自分の居場所」を確保し、「自分のなかま」をみつけ、「頼れる先生」を追いかけしています。朝、スクールバスから降りてくると、ニコッと笑顔で、「おはよう！」とあいさつしてくれる、その子どもたちの姿、表情に、我々教職員も癒され、「元気」をもらいます。



「学校」は、何より、「楽しく」、「自分の居場所がある」小さな社会でありたい。これが、何よりの我々の思い・願い・責務であると、常に考えています。

新入児生16名を新たに迎え入れ、合計58名の「そのべっ子」の1年が始まりました。

三反田学校長をはじめ、教職員一同、本年度もどうぞよろしくお願ひいたします。

昨年度のマンスリーの中で、たびたび、お知らせ・お願ひをさせていただきましたが、子どもたちは学校卒業後、地域社会で生活します。「学校」という集団のみならず、地域の方々とのふれあい、交流活動が、より豊かに生きるための「力」になると考えています。園部や鳴滝の地域の皆様方との交流の機会を設けて、取り組んでまいりたいと考えています。どうぞよろしくお願ひします。

## 5月の予定

- 春季遠足 小学部(13日(木)) 中学部(7日(金))
- 授業参観・保護者会・給食試食会(18日(火))
- 宿泊学習(中学部・20日(木)~21日(金))
- 職員作業(グラウンドで草刈りを行います。ご理解をお願いいたします。)  
24日(月) 15:30~17:00
- 県警音楽隊鑑賞会(午前中) 体育館で大きな音が流れます。28日(金)

